

II 施 設

1. 施設の概要

水資源再生センター 5箇所、汚水中継ポンプ場 6箇所
 雨水排水ポンプ場 8箇所、災害対策ポンプ 6箇所 （令和6年度末時点）

(1) 水資源再生センター

施設名	供用開始	処理能力	処理区
弁天水資源再生センター 弁天四丁目1番1号 ○敷地面積 61,727㎡	昭和52年10月	57,468㎡/日 ○処理方式 標準活性汚泥法 ○放流先 大分川	中央処理区 ○処理人口 111,823人 ○処理面積 1,585ha
宮崎水資源再生センター 大字宮崎35番地 ○敷地面積 34,810㎡	昭和48年12月(第1プラント) 平成3年4月(第2プラント)	45,120㎡/日 ○処理方式 標準活性汚泥法 ○放流先 大分川	植田処理区 ○処理人口 65,856人 ○処理面積 1,457ha
原川水資源再生センター 向原沖3丁目1番31号 ○敷地面積 34,092㎡	昭和60年4月(第2プラント) 昭和44年9月(第1プラント) ※第1プラントは撤去済	46,964㎡/日 ○処理方式 酸素活性汚泥法 ○放流先 原川	東部処理区 ○処理人口 95,625人 ○処理面積 1,600ha
大在水資源再生センター 大字志村2500番地の1 ○敷地面積 52,498㎡	平成2年4月	23,031㎡/日 ○処理方式 標準活性汚泥法 ○放流先 大野川	大在处理区 ○処理人口 38,738人 ○処理面積 910ha
松岡水資源再生センター 大字松岡1878番地の1 ○敷地面積 18,402㎡	平成4年4月	13,938㎡/日 ○処理方式 標準活性汚泥法 ○放流先 大野川	南部処理区 ○処理人口 26,805人 ○処理面積 589ha

(2) 汚水中継ポンプ場

施設名	供用開始	揚水能力	処理区
小野鶴汚水中継ポンプ場 大字小野鶴780番地の2 ○敷地面積 2,078㎡	昭和50年10月 (平成16年4月建替)	9.0㎡/分	植田処理区
小中島汚水中継ポンプ場 大字家島1090番地の5 ○敷地面積 1,068㎡	平成2年4月	10.6㎡/分	大在处理区
判田汚水中継ポンプ場 大字下判田1940番地の4 ○敷地面積 882㎡	平成4年4月	8.1㎡/分	南部処理区
南部汚水中継ポンプ場 大字大分4973番地の1 ○敷地面積 4,162㎡	平成12年4月	13.6㎡/分	中央処理区
高田汚水中継ポンプ場 大字関園120番地の2 ○敷地面積 477㎡	平成19年4月	2.1㎡/分	大在处理区
戸次汚水中継ポンプ場 大字下戸次4789番地の1 ○敷地面積 1,035㎡	平成19年4月	2.5㎡/分	南部処理区

(3) 雨水排水ポンプ場

施 設 名	供 用 開 始	排 水 能 力	処 理 区
弁天雨水排水ポンプ場 弁天四丁目1番1号 (弁天水資源再生センター内) ○敷地面積 61,727㎡	昭和54年10月	7.6㎡／秒	中部排水区
津留雨水排水ポンプ場 西新地1丁目198番地の2 ○敷地面積 4,333㎡	平成11年 4 月	17.0㎡／秒	津留排水区
堂園雨水排水ポンプ場 大字関園256番地の3 ○敷地面積 1,323㎡	平成17年 5 月	9.1㎡／秒	高田排水区
関門雨水排水ポンプ場 大分市大字関園533番地の1 ○敷地面積 1,277㎡	平成17年 6 月	7.6㎡／秒	高田排水区
元町雨水排水ポンプ場 大字大分3978番地の1 ○敷地面積 7,627㎡	平成19年 4 月	19.7㎡／秒	中部排水区
皆春雨水排水ポンプ場 大字乙津28番地の1 ○敷地面積 3,977㎡	平成24年 6 月	26.1㎡／秒	乙津排水区
花園雨水排水ポンプ場（第1期） 大字古国府字上河原 ○敷地面積 —	平成21年 6 月	2.0㎡／秒	南部排水区
片島雨水排水ポンプ場 大字片島字尻込 ○敷地面積 4,930㎡	令和 5 年 3 月	18.0㎡／秒	滝尾排水区

(4) 災害対策ポンプ施設

施 設 名	供 用 開 始	排 水 能 力
光吉災害対策ポンプ施設	平成18年 6 月	1.0㎡／秒
若宮災害対策ポンプ施設	平成18年 6 月（第1期）	1.0㎡／秒
	平成26年 4 月（第2期）	1.0㎡／秒
萩原災害対策ポンプ施設	平成19年 6 月	1.0㎡／秒
花園災害対策ポンプ施設	令和 6 年 3 月	1.0㎡／秒
下郡災害対策ポンプ施設	令和 6 年10月	1.0㎡／秒
光永災害対策ポンプ施設	昭和60年 4 月	1.5㎡／秒

2. 水資源再生センター包括維持管理業務委託の状況

包括維持管理業務委託は、業務委託の発注に当たり、発注者が仕様書によりその業務の遂行方法等の詳細を定めず、一定の委託目標（排水水質の基準等）を達成できれば、遂行方法等は民間事業者の自由裁量に委ねる性能発注方式です。

これにより、職員の減や受託者が長期契約による人材の安定的な確保・育成を図り、創意工夫を含めた技術力の向上等に努めることにより施設の維持管理経費の縮減が期待できるため、平成14年度に全ての水資源再生センターで導入し、業務範囲も段階的に広げています。

委託期間	施設名	受託者	委託料 (単位：百万円)	業務範囲
第Ⅰ期 H14～H15 試行実施 (2年)	弁天	(株)九州設備公社	661.79	レベル2 ○施設の運転操作・監視、保守点検、水質分析 ●施設・物品管理（電気、ガス、水道、薬品等の調達・管理） ●修繕（補機など小規模設備の修理）
	宮崎	(株)九州設備公社	477.75	
	原川	昭和環境システム(株)	474.21	
	大在	(株)サングリーン	253.08	
	松岡	(株)ナナモリ	222.83	
	計		2,089.66	
第Ⅱ期 H16～H17 試行実施 (2年)	弁天	(株)九州設備公社	600.6	同 上
	宮崎	(株)九州設備公社	511.35	
	原川	昭和環境システム(株)	473.55	
	大在	(株)サングリーン	280.35	
	松岡	(株)ナナモリ	226.8	
	計		2,092.65	
第Ⅲ期 H18～H20 本格実施 (3年)	弁天	(株)九州設備公社	915.09	以下を新たに含めた ●保安協会に委託していた自家用電気工作物の保守を業務範囲に含める ●臭気測定業務の明記 ●性能未達成時(遵守基準を満たせなかった場合)の罰則(違約金)を設定
	宮崎	(株)九州設備公社	790.12	
	原川	昭和環境システム(株)	657.84	
	大在	(株)サングリーン	430.66	
	松岡	(株)ナナモリ	370.69	
	計		3,164.40	
第Ⅳ期 H21～H25 (5年)	弁天	キューセツAQUA(株) ※1	1,595.86	同 上
	宮崎	キューセツAQUA(株) ※1	1,154.83	
	原川	昭和環境システム(株)	1,152.39	
	大在	(株)サングリーン	732.84	
	松岡	(株)ナナモリ	677.33	
	計		5,313.25	
第Ⅴ期 H26～H30 (5年)	弁天	キューセツAQUA(株)	1,856.02	レベル2.5 以下を新たに含めた ●一定範囲の補修（主要機器の維持管理など）
	宮崎	キューセツAQUA(株)	1,259.50	
	原川	ヴェオリア・ジェネッツ(株) ※2	1,363.62	
	大在	(株)サングリーン	854.12	
	松岡	(株)ナナモリ	756.76	
	計		6,090.02	
第Ⅵ期 H31～R3 (3年)	弁天	キューセツAQUA(株)	1,246.13	同 上
	宮崎	キューセツAQUA(株)	851.00	
	原川	ヴェオリア・ジェネッツ(株)	871.85	
	大在	(株)サングリーン	563.69	
	松岡	(株)ナナモリ	520.92	
	計		4,053.59	
第Ⅶ期 R4～R8 (5年)	弁天	キューセツAQUA(株)	2,291.52	同 上
	宮崎	キューセツAQUA(株)	1,646.45	
	原川	ヴェオリア・ジェネッツ(株)	1,628.80	
	大在	ヴェオリア・ジェネッツ(株) ※3	1,298.43	
	松岡	(株)ナナモリ	947.94	
	計		7,813.14	

(注) ●は、過去の業務委託から包括業務委託に移行後、新たに追加されたもの

※1 H25.7『(株)九州設備公社』が『キューセツAQUA(株)』に商号変更

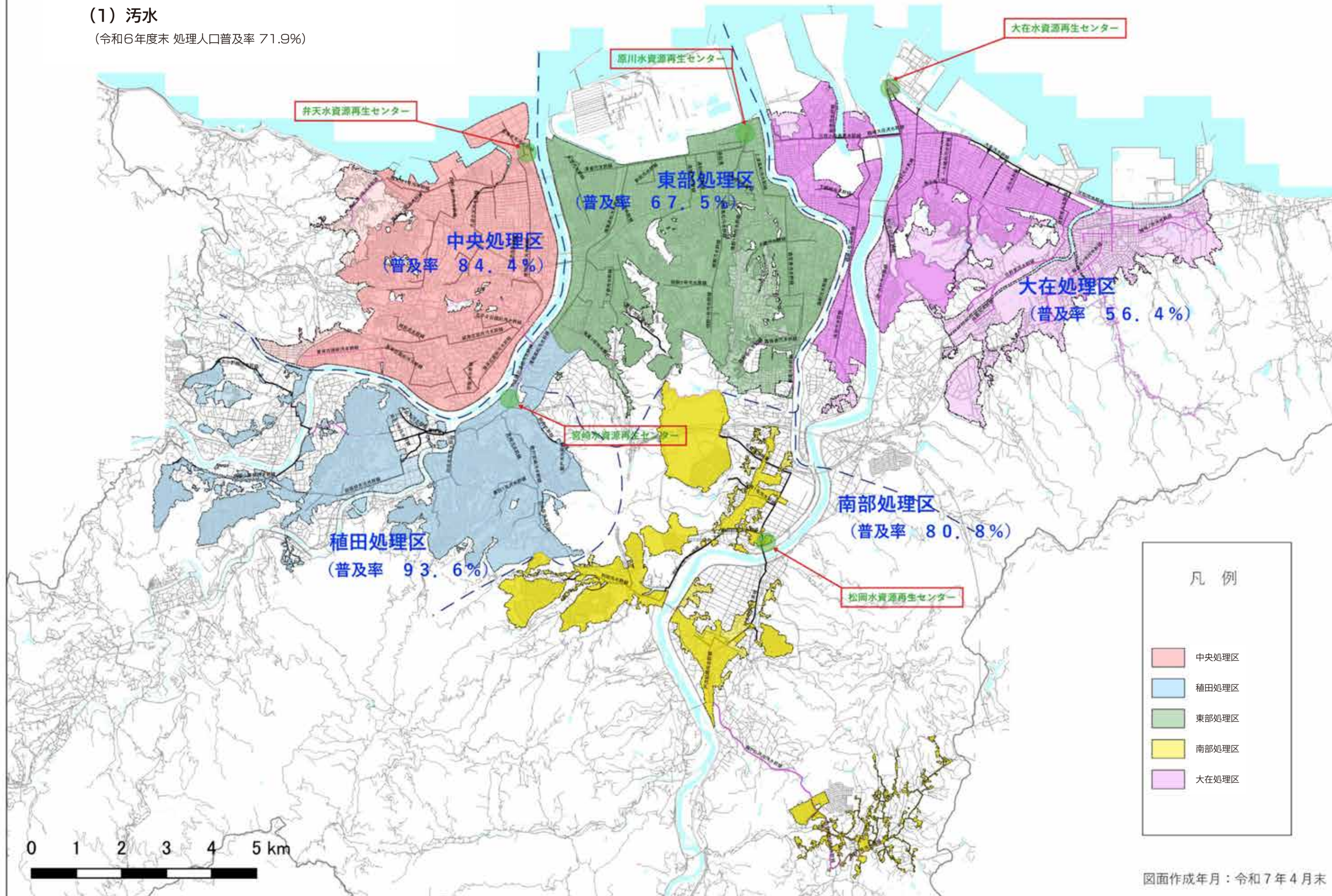
※2 H28.4.1付『ヴェオリア・ジェネッツ(株)』が『昭和環境システム(株)』を合併

※3 R4.7.1付『ヴェオリア・ジェネッツ(株)』が『(株)サングリーン』から事業を継承

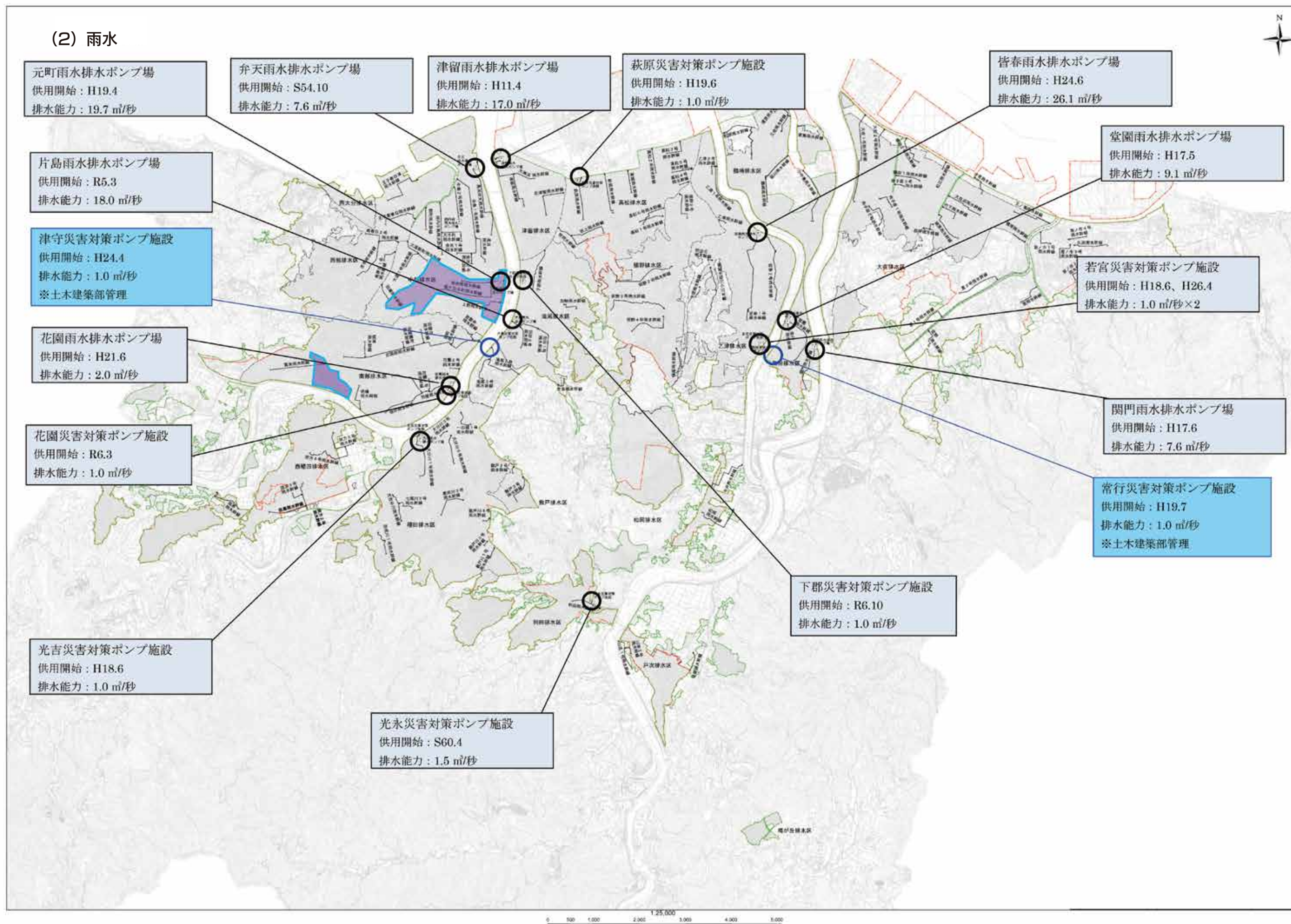
3. 公共下水道施設概要図

(1) 汚水

(令和6年度末 処理人口普及率 71.9%)



(2) 雨水



施設